解剖学実習を通して

今回の解剖学実習では、解剖学講義を通して学んだ身体の構造を、遺体を解剖することでより実践的に学ぶことができました。図説や写真などで見ることはあってもまだ具体的なイメージが湧かなかった器官は、実際に見てみることでその構造をきちんと理解することができ、自身の糧となるような実習でした。解剖中はわからない部分もありましたが、班員や教員の力を借りて湧いてきた疑問を解決し参考書や手順書と比較しながら器官を同定していきました。これから先の学習にも役立つような実習でした。

そして、貴重なご遺体を提供してくださり、心から感謝申し上げます。解剖学実習を通じて、その深い知識と理解を得ることができました。献体してくださった方によって、私たちは臓器や組織の構造や機能を学べ、将来の医療現場で患者さんに最善のケアを提供できるようになれます。これからも常に敬意を持って、感謝の気持ちを忘れることなく、成長していきます。

最後に改めて誠にありがとうございました。

解剖実習から学んだこと

解剖学実習では様々な貴重な経験をさせて頂きました。実際に自分の眼で見たり自分の手で触れたりして学んだ知識は、教科書や講義では代わりえないものだったと振り返ります。また、解剖学実習を通じて私は命の尊さについて考える機会を改めて頂きました。ご遺体を前にして、医療従事者として人の命に向き合う責任の重さについてもう一度考え、今私が勉強している「医学」という学問分野の大切さを再認識しました。またご遺体にメスを入れた時には、この経験を最大限に活かすためにこれからもできる限りの努力をし続けよう、と医療従事者になるための決意を自然と抱かされました。

これらの貴重な経験は献体くださった方並びにご遺族の方のご協力がなくては得られなかったものであり、皆様にはいくら感謝をしてもしきれません。解剖学実習を通じて得た経験を胸に刻んで、医療従事者としての責任を果たせるようにこれからもより一層邁進していきたい所存です。

人体解剖実習を終えて

はじめに、今回の人体解剖学実習につきまして献体してくださった方やそのご遺族の方々、献体の会の会員の皆様をはじめとするご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。

今回の実習で実際にご遺体を見て、解剖させていただいたことによって、教科書を見ているだけでは決して得られない実感をもって人体の構造を理解することができました。実際に自分の眼で見て学習するのと、教科書の絵や写真を見て学習するのでは理解の深さや記憶の定着が全く異なりました。

また、学習面だけではなく倫理的観点においても大きな学びがありました。初めて実際にご遺体を見て、解剖させていただいたことによって、今まで医師として生身の人間に向き合うということを全く分かっていなかったことを痛感しました。

改めて、このような深い学習をさせてくださった献体してくださった方々に感謝申し上げます。

これからも今回の解剖実習を通して得た学びを忘れることなく、医学を志すものとして精進してまいります。

解剖学実習を終えて

初めに、献体してくださった方、ご遺族の方々に感謝申し上げます。こういった貴重な機会をいただき、たくさんのことを学ぶことができました。また、医学を学ぶ者としての意識が改まる有意義な時間でした。

私は解剖を通じて最善を尽くし、たくさんのことを学ぶことに決めました。そして、私は人体解剖実習を通じて人体の構造への理解を深めることができました。実際の人体は教科書で見るだけでは理解しきれなく、神秘で複雑でした。解剖で学んだことはこれからの勉強の礎となり、解剖の経験は一人前の医療従事者になるための土台になると確信しています。今後、患者さんと向き合う際に心構えをするようになりました。一人一人の患者さんに対して、病気だけを見ず、その方の生活や人生も見据えて接することを心がけようと思います。

今後は、この機会が当たり前のことではないことを忘れず、感謝の気持ちを持って勉学に励みたいと考えています。最後に、改めて献体してくださった方、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

解剖実習を終えて感じたこと

はじめに、献体してくださった方々およびそのご遺族をはじめ、解剖実習にご協力くださった全ての方々に心から感謝申し上げます。

実習に臨むにあたり、授業動画を視聴し、グレイ解剖学や人体解剖カラーアトラスを参照しながら実習資料の予習を行いました。一回目の解剖実習の前には、「これだけ予習をしたのだから、きっと剖出しなくてはならない構造を剖出できるだろう」と考えていました。しかし、実習が始まると、これが甘い思い込みであったことに気づかされました。体の構造には個人差がありますし、何より教科書には二次元で構造が描かれています。頭の中ではわかっているつもりでも、いざご遺体を解剖してみるとうまく剖出できない自分に、情けなさを感じました。それと同時に、解剖実習の大きな意義を感じました。解剖実習がなければ、私は教科書を読んだだけでわかった気になって満足していたでしょう。解剖学は、将来どの診療科に進むためにも必要です。

今回の解剖実習でからだの構造を実際に見て学び、その奥深さを実感できたことは、私にとっての財産です。実習での経験を忘れず、献体してくださった方々に恥じない医師になれるよう、これからも精進して参ります。

解剖実習で得たもの

最初に、献体をしてくださった方々、ならびにそのご遺族の方々に深く御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

人体解剖実習の初回、人生ではじめてご遺体を目にした時の光景は、今でも脳裏に焼き付いて離れません。実習という場は、人体に直接触れることで解剖学という学問の造詣を深めることが第一の目的なのだと考えておりましたが、人の命を扱うことの重さを肌で体感するということもまた一つの重要な主題であるのだと実感させられました。

実習の際には毎度、教科書や講義を通じて十分な予習復習をしたうえで臨むよう心掛けましたが、実際に目の前に鎮座する血管や神経、筋肉等の同定に苦労する場面が多々ありました。しかしその分、事前に学習したそれらを発見できた際の喜びは一入でした。

重ねてにはなりますが、まだまだ未熟な学生にすぎない我々に、献体を通じて貴重な学習の場を提供してくださった方々、ならびにそのご遺族の方々に改めて感謝申し上げます。本実習の経験が決して無駄にならぬよう、医学の勉強に日々邁進してまいります。

座学では得られない学び

はじめに、今回の解剖学実習にあたって献体してくださった方々、並びに遺族の方々に心より感謝申し上げます。座学では得ることのできない知識を体得する貴重な経験となりました。

毎回の実習にあたっては、事前に資料や教科書をもとに、同定するべき構造の入念な予習を行いましたが、教科書とは形がずいぶん異なっていたり、そもそもその構造が存在していなかったりと、実習を始めた当初は戸惑うことが数多くありました。医師になってから実際に患者さんの体を見ていくうえで、紙面上の知識だけでは太刀打ちできないのだと実感させられた瞬間でした。

解剖学実習を終えて、将来人の命を扱う医師として働くことがいかに難しいことなのか、そしてどれほどの責任が伴う職業なのか強く自覚しました。初めてご遺体と向き合ったときの緊張感は一生忘れることのできないものです。献体してくださった方々、ご遺族の方々のご期待に応えるべく、今後も勉学に精進してまいります。この度は本当にありがとうございました。

解剖実習を通して

今回の解剖実習を通して、自分自身医者になるものとしての覚悟を決める第一歩になったと言えます。今までは紙面上の二次元の絵や図しか見てこなかった私にとって、三次元の本物の遺体を解剖するというのは、最初は少し恐ろしく、怖くもあることでした。しかし、実習を通して三次元で実際に自分の目でみることで、二次元ではよくわからない立体構造や、体験として得た知識経験がその後の勉強に非常に役立っていると実感しました。特に腹部の内臓の位置関係や、複雑な骨の構造などは教科書や資料を読んでいてもさっぱり理解できなかったのですが、実際に遺体を解剖することで非常に理解が進んだように思いました。献体してくださった方に恥じないように真剣に解剖に臨むことができ、このような機会をくださった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもこのような機会をくれた皆様のことを忘れず、勉学に励み、微弱ながらも誰かのためになれる医者を目指し頑張っていきたいと決意を新たにしました。

実習を通して思ったこと。

はじめに、献体をしてくださった方々、並びにご遺族の方へ、解剖学実習ができたことに対して心より感謝申し上げます。

人体解剖学実習では、それまでに人体解剖学や解剖学用語試験などで学んだ、まだ図で見たりしただけで曖昧な知識を、実際には目で見るとどうなっているかを立体的、構造的に学ぶことに繋がりました。また、人体が教科書にあるようなわかりやすい図のようなものでなく、複雑に絡み合った構造であるとわかり、医学の難しさを痛感いたしました。さらに、自分の手でご遺体にメスを入れていくという経験から、将来医師として患者さんの体にメスを入れることになった時、その重みと責任がどのようなものかを想像する機会になりました。そしてこの機会を与えてくださった、献体してくださった方に対する感謝の気持ちと、医学の教育・研究のことを考え、献体を決められたことに対する尊敬の念を覚えました。この貴重な経験で学んだことを活かし、これからも学び続け、将来社会に貢献することのできる医師になれるよう努力を続けて参ります。

解剖実習を通じて得た貴重な学びと感謝

はじめに、献体してくださった方々ならびにご遺族の方々へ、私たち医学生の学びのためにご協力してくださったことに心より感謝申し上げます。

実習が始まる前は、貴重な機会への期待を感じると同時に、遺体を解剖することに対する漠然とした恐怖感が入り混じっていました。しかし、実際に実習が始まってみると、理解しやすいように作られている教科書の図表とは全く異なる複雑な構造に驚愕しました。特に、教科書の図では二次元的にしか見ることのできない構造や、三次元のデジタル教材では詳細な構造が単純化されているような部位が実際にどのように見えるのか、詳細に観察できました。

回を重ねるごとに、限られた実習の時間で最大限学ばねばという責任感が増していき、自然と事前の予習も増えていきました。班員と協力して学び、人体への理解を深めることのできたこの実習の経験は、医師になってからも活き続ける一生の財産となると確信しております。

最後に、改めて解剖という貴重な学びの機会のために献体してくださった方々とご遺族の方々、そして献体の会の会員の皆様に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

実習で学んだこと

はじめに、献体してくださった方々、ご遺族の方々、本当にありがとうございました。大変貴重な機会を得ることができました。

講義やスライドを見るだけではわからないことをこの実習では学ばせていただき、医者が診ているのは何なのかイメージをつかめた実習になったと思います。医者が向き合っていることは自分が思っていたよりも複雑なのだと感じました。同時に医者になるという自覚を持つことができました。また、人体についての理解を深めることができました。実際に見ることによってより理解することができ、同時にその学んだことを定着することができました。実際に手を動かして得た学びは忘れることはないと思いました。今回得た学びを生かしてよい医者になるために今後もよりいっそう努力していきたいと思います。

あらためて、献体してくださった方々、ご遺族の方々に貴重な学びの機会を提供してくださったことを感謝したいです。本当にありがとうございました。

目で見て心で向き合うことの大切さ

初めに、解剖学実習のために献体をして下さった方々、またそのご遺族に深く感謝申し上げます。

事前に人体の構造などについて学習はしていたものの、実際に解剖させていただくと、人体の構造の精密さ、教科書との違いに驚きと挑戦の連続でした。座学で学んだ通りにスムーズに進まないことも多く、より学びを深める必要性を感じるとともに、人体の構造を理解するためには実学が必要不可欠だと実感しました。特に医師となり病気を治療することを考えると、解剖学実習において人体の構造間のつながりやその複雑さについて学んだことは将来に大きく役立つと考えております。

また、献体してくださった方の人生に思いを馳せ、改めて医師として人の命と向き合うということの重みを感じる機会にもなりました。

改めて、本学医学生にご遺体を解剖させていただくという貴重な機会を与えて下さったことに心から感謝いたします。

今後は人体解剖学実習で学んだこと、感じたことを決して忘れず、人の命に真摯に向き合うことのできる医師となるため、精一杯精進して参ります。

献体が繋ぐ命の輪

この度は献体してくださった方またご遺族の方々に、心より感謝申し上げます。皆様のご厚意により、私たち医療関係者は医学の進歩に大きく寄与する貴重な機会を得ることができました。

想像力と常識に欠けお恥ずかしい話ですが、私は解剖学の授業を受けるまで献体の会の存在や遺体の提供がどのように成り立っているのかを詳しく知りませんでした。しかし実際に遺体を解剖させていただき、この献体の仕組みがいかに医療を支えている大切なものなのかを痛感しました。解剖学実習はおそらく多くの医学生が実際の遺体を目で見て手で触って勉強できる唯一の機会であり、座学では決して理解できないことを学べる場です。そして私を含め個々の医学生の解剖学への理解は医療を支え、将来的にはるかに多くの命を救うことに繋がっていきます。まさに献体は命の輪を繋いでいく仕組みです。

この素晴らしい仕組みに遺体の解剖で関わった身として、私自身もこの命が尽きた日には献体したいと検討し始めています。命が命を救うこの尊い輪を繋いでいくべきだと心から思っています。

あらためて献体してくださった方またご遺族の方々、ありがとうございました。

解剖実習を通して得た医療者としての自覚

この度は、解剖実習という大変貴重な機会を賜り、献体してくださった方とご遺族の方々に心より御礼申し上げます。

解剖実習が始まった当初は、献体してくださった方の生前の姿やご家族のことを思うと、私たちがご遺体にメスを入れてもよいのか、と躊躇いの気持ちも持っていました。一方で、そのような方々の思いを無駄にしてはいけない、と医学生としての責任を日々感じながら、解剖実習に向き合い、多くのことを吸収できたと感じています。

解剖実習では、教科書や講義だけでは学ぶことのできない人体の構造の複雑さを学びました。各構造は教科書通りに存在していないことも多く、その一つひとつの構造にも理由が存在していて、互いにつながりあっているのだということを実習中に発見するたびに、なんて人間の体は美しくできているのか、とある種の感動をも感じていました。

人体解剖実習を通して、医療者の一員であるという自覚をより一層持つことができました。実習で学んだことを胸に刻み、多くの人の健康に貢献できる医師となれるよう、精進して参りたいと思います。改めて、解剖実習にご尽力下さったすべての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

得がたい経験

今回献体をしてくださった方、またそのご遺族の方々、誠にありがとうございました。医学書や座学の授業のみではなかなか得ることのできない、「実際に触れて、肌で感じて学ぶ」という貴重な経験を得ることができました。この経験は私にとってとても新鮮なもので、人体への理解をかなり深めるきっかけになったと感じています。

またこの解剖を進めていく中で、今生きて解剖をしている自分たちと、ご遺体として解剖されている方との距離がとても近く、死というものがとても近くにあるように感じました。つい数か月前までは命があった身体を使わせていただいていること、またこれからは命を扱うような、日常と比べて生と死がとても近くに存在する職業に就くことを改めて実感させられるような実習であったと思います。このような体験はなかなかできるようなものではないと実習中も、そして実習が終わった今でも強く感じています。改めて、この度は私たちにこのような尊く貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

献体していただいた方への感謝

はじめに、今回の人体解剖学実習につきまして、献体してくださった方々ならびにご遺族の方々、献体の会の会員の方々に深く感謝申し上げます。

この解剖学実習を通して、実際に自分の手で解剖し、観察することにより、教科書や講義だけでは得られない多くのことを学ぶことが出来ました。教科書での人体の構造は色分けされていたり、必要な部分しか描かれていなかったりと、とても簡略化されているので、実際に自分の手で解剖してみて、いかに人体の構造が複雑であるかを実感し、自分の目で見ることの大切さを知ることが出来ました。

今回の実習ではとても多くのことを学ぶことが出来ました。人体解剖学実習で学んだことは、これからの医学の勉強を進めていく上での大きな礎になったと思います。改めて、今回の解剖学実習で非常にも貴重な経験をさせて頂いた事を深く感謝申し上げます。これからもこの貴重な経験をさせて頂いたことを忘れずに日々勉学に励み、立派な医者になれるように精進してまいります。

人体解剖実習を終えて

我々医学生が、人体の構造について学ぶ上で、欠かすことのできない非常に重要な実習であったと感じた。もちろん、この実習以外にも、人体の構造、メカニズムについて学ぶ場所は多々あるものの、あくまで文字や画像でとらえるという知識を得る場であり、その点でこの人体解剖実習とは根本的に異なっていた。今後の医師としてのキャリアにおいて、経験というものが大いに必要になる中、その土台となるようなこの実習を、経験という形で吸収できたことは非常に有益であった。

この実習において、得られたものはそれだけではない。我々の中での意識の向上にもつながったと考えている。今まで、多くを「大学生」として過ごしてきて、医学を学んではいるけれども、学生だということには変わりない姿勢の者が多かった。今回、実習を通して、学ぶことに責任を伴う医療者の一員であるという意識が芽生えた。

最後に、遺族の方、献体してくださった方、献体の会の会員の皆様に感謝を述べたい。

解剖実習を通して

まず、献体してくださった方々、そしてそのご遺族の方々がいらっしゃったおかげで、解剖実習という貴重な体験ができたことに対して、深く感謝を申し上げたいと思います。

この解剖実習をさせていただいて実感したことは、実際に解剖させていただくことの大切さです。教科書や講義で学ぶ内容とは違う部分がたくさんあり、自分自身の手を動かし、実際に人体の構造を確認させていただくことで、話を聞くだけでない深い理解を得ることができました。また、解剖実習をさせていただくことで、メスなどの医療器具の使い方を学ばせていただきました。そして、この解剖実習を通して、これから医療従事者になるのだという自覚がより一層芽生えました。この実習では自分の知識がまだまだ足りていないことを実感したので、実習で得た貴重な経験を活かして、今後も勉学に励み、社会のために貢献できるように頑張りたいです。

最後に、改めて解剖実習という貴重な経験をする機会を提供していただき、本当にありがとうございました。

解剖実習で得た学び

初めに、私たちの解剖学実習のために献体してくださった方々、またそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

授業で習った人体の構造を、立体的な位置関係を把握しながら、自分の手を動かして見つけ出すことは、大変貴重で学びの多い経験となりました。実際、授業で学んだ血管や神経を見つけると、その走行を確認したくて解剖に夢中になることもありました。教科書通りの構造をこの目で確認することができて感動することや、教科書通りではない動脈の分岐を目の当たりにして人体の複雑さを実感することもありましたが、どちらの経験も知識を定着させる大きな助けとなりました。その一方で、実習を通して手術の難しさを実感することもありました。構造の細かい部分は思うように解剖が進まないことも多く、生きた人体にメスを入れる手術をするためには、より多くを学び、器具を扱う経験も積まなければならないなと感じました。

今回の実習で得た学びをしっかりと身につけ、今後も勉学に励もうと思います。改めて、私たちにこのような学習の機会を与えてくださった皆様方、本当にありがとうございました。

教科書からだけでは得られない学び

人体解剖学実習では、教科書や講義では得られない多くの学びを経験できました。まず、実際にご遺体を解剖することで、教科書の図解や写真では伝わりきれない質感やその位置を理解することができました。

また、実習を通じて、人体の複雑さと精密さに改めて感動しました。骨と筋肉の連携、神経の分布、血管の走行など、各部位がどのように相互作用しているのかを実際に観察することで、人体が単なるパーツの集まりではなく、非常に精巧なシステムであることを実感しました。

さらに、実習を通じて、解剖学の知識が実際の医療現場でどのように応用されるのかを具体的にイメージすることができました。解剖実習で学んだ知識は、将来の臨床経験において必ず役立つものであり、患者さんの治療やケアに直結する重要なものであると感じました。

最後に、実習を通じて解剖学を学ぶことの重要性と、それに対する責任を再確認しました。人体を扱う職業に就く者として、正確な知識と技術を身につけることの大切さを痛感しました。実習での経験を糧に、これからも一層の努力を重ねていきたいと思います。貴重な経験をすることができました。献体してくださりありがとうございました。

解剖実習で得た様々な学びとご協力への感謝

はじめに、私たちの解剖実習のために献体してくださった方々、そしてそのご遺族の皆さまに深く感謝申し上げます。温かいご協力のおかげでとても実りある貴重な経験をさせていただくことができました。

実習が始まる前はまだ専門科目が始まって間もなく、医学生にしかできないことをするのは初めてであったため、責任感を持って取り組めるのかという不安や緊張がありました。しかし、実際に自分の手を動かし、仲間と相談して理解を深めながら実習する中で、授業で学んだ人体の各部分の構造や頑張って覚えたその名前が頭の中でつながっていくのを感じ、感動しました。また、様々な個人差があったり、教科書通りにはなっていなかったりすることを知って、人間は一人ひとり違うこと、だからこそ患者さんそれぞれに合う治療を進めることの重要性を痛感しました。加えて、うまくいくことばかりではない難しさに触れ、それでも諦めずに努力する忍耐強さも手に入れられたと思います。

これからも乗り越えるべき山がたくさんありますが、この実習で身につけた知識や得られた精神的な成長を大事に、社会に貢献できる医師になれるよう精進します。この度は誠にありがとうございました。

実際に解剖することで得られる学び

まずは解剖実習をさせてくださった大学や教授、また解剖班を組んでくれた同級生、そして誰よりも献体してくださった方とご遺族の方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

私たちは解剖実習の前に講義で解剖学を学んだり単語帳で単語を学んだりします。そして解剖実習に参加して学んだのは、自分が今まで学んだと思っていたのはあくまで教科書、紙の上での話で実際は何も分かっていなかったのだということです。いざ解剖を始めてみると、教科書や単語帳、講義にないものが出てくる、様々な構造が複雑に絡み合って正直単語帳で見たはずなのに何も分からない、といった事実に直面しました。遺体を解剖する中で、自分の無知を突き付けられている気がしていました。そして解剖班の班員と議論しながら解剖を進めていく中で、教科書や講義の内容もより理解できるようになっていきました。実習という時間があるだけでこんなに変わるものなのかと実感しました。

最後に、重ねて御礼申し上げます。こんな貴重な経験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

人の命に責任を持つことへの想像

この度、解剖実習の献体にご協力いただいた方々やその遺族の皆様に心より感謝いたします。

私はこれまで医学部に入学してから様々な授業を通じて医学の学問的な面白さや複雑さなどを感じてきました。しかし、はじめてご遺体を前にして感じた緊張感から、将来、医療従事者として人の命に対して非常に重い責任を持たなくてはならないことが初めて実感となった気がしました。また、実際の人体の構造が専門書にあるものよりもずっと複雑で、それぞれ異なっていることもわかりました。このことから、本から知識を吸収することに満足しているだけではいけないという考えにもいたりました。私はもともと研究活動を通じて、その成果を臨床の現場に還元したいと考えていましたが、今回のように実習や臨床の現場に立つことで得られる実感や問題意識が逆に研究において重要になるのではないかと思いました。

このような貴重な経験の機会をいただき、あらためて感謝するとともに、今後よい医療従事者となれるよう、たゆまぬ努力を継続していくことを誓います。

解剖学実習を終えて　謝辞

献体をしてくださった方々、そのご遺族の方々ならびに献体の会の会員の方々には、この度解剖学実習という医学生として大変貴重な学びの機会を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

解剖学実習は事前に講義や教科書を通して人体の構造や機能を学んでから行いましたが、実際の人体では教科書で見た構造を確認でき理解が深まることもあれば、血管の分岐の仕方など教科書通りではない構造も多々あり人体の複雑さを改めて感じることも多かったです。

また、ご遺体を解剖することを通して、人体の構造への理解が深まっただけでなく、医師が人の命とその想いと向き合う職業だということを改めて学びました。毎回の実習前に黙祷を捧げるとき、納棺式で献体をしてくださった方の副葬品を拝見したとき、皆様が医学の発展を願い大切な想いを私たちに託してくださったことを強く感じ、それを決して忘れぬよう実習に取り組んでまいりました。

今回の実習で学んだことを糧にこれから先、患者さんとその周りの方々と真摯に向き合える医師を目指していきたいです。

最後になりましたが、解剖学実習にご尽力を賜りましたすべての皆様へ重ねて厚く御礼申し上げます。

人体解剖学実習を終えて

はじめに、解剖学実習のために献体してくださった方々やそのご遺族の方々に心から感謝申し上げます。献体してくださった方々のおかげで、私たちは実習を行い、多くのことを学ぶことができました。

解剖学実習では、これまで教科書の図や写真だけでしか見たことのなかった人体の中の構造や組織などを、実際に自分の目で観察することができました。授業で習っただけの時は、体の中が習った通りになっているという実感が湧かず、なんとなくの理解になっていたように思います。実際にご遺体を観察することで、実感を持って理解することができ、観察した事柄は大変印象に残りました。また、授業で習ったことや予習した知識の通りでないことも多くあり、その度に戸惑うこともありましたが、人体の複雑さや奥深さを感じることができ、大変興味深く思いました。

解剖学実習を通して、知識が身についただけでなく、医学生としての自覚を強めることができたと感じています。解剖実習の経験と、献体してくださった方への感謝の気持ちを忘れずに、立派な医師になれるように、これからも頑張っていきたいと思います。貴重な経験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

解剖実習を通じての感謝と学び

本解剖実習に際して、献体をしてくださった方、ご遺族の方に深く御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

私は本学の医学科二年生として今回の解剖実習に取り組ませていただきました。この実習は今後の医学を学んでいくうえで非常に重要な実習であり、かつ初めてご遺体を解剖させていただく実習でもあります。そのため、今までにない緊張感の中で臨ませていただきました。

実際に解剖に取り組ませていただいて、感じ得たことは解剖学的な学びにとどまらず、医療の意義や、そこに対して向かっていく覚悟といった精神面での学びにも触れさせていただきました。いかに医学が専門的であり、医師を目指す上で求められる知識や技術、精神面での強い芯を持つことが重要であるかを実感しました。

将来の医療を担わせていただく身として、本実習を通じて得た知識、視点を糧にして、精進して参ります。改めて、献体をしてくださった方、ご遺族の方に感謝を申し上げます。ありがとうございます。

人体の立体性

遺体の解剖を通じて内臓の位置関係を立体的に理解することができ、大変貴重な体験となりました。教科書等で学ぶときは平面的でしたが、実際の人体を見ることで各器官の位置や相互関係を立体的かつ具体的にイメージしやすくなりました。特に血管や神経が各器官にどのように接続しているかを見て、実感を持つことができたと思います。

また、実際の人体は教科書や図解と必ずしも一致しないことが多々ありました。例えば、血管の走行や神経の位置が個体差によって異なることを確認しました。人体の多様性と複雑さを再認識し、臨床の現場で柔軟な対応が求められることを痛感しました。解剖の際に手早く同定できない構造物も少なからずあったため、まだまだ精進しなければならないと思いました。

遺体を解剖するという貴重な経験の機会をくださり、献体してくださった方と遺族の方々に深く感謝申し上げます。頂いたご厚意を無駄にしないため、これからも医学の勉強に励みたいと思います。

人体解剖学実習を終えて

初めに、献体してくださった方々とご遺族の皆さまに、心からの敬意を表したく存じます。皆さまの尊く崇高なご厚意により、私たちはこの貴重な実習を遂行することができました。本当にありがとうございました。

私たちは、本実習に先立ち十分な時間を費やしながら人体解剖学の講義を受けました。しかし、座学で解ったつもりであっても、やはり実際にお体に向き合うと、理論と異なった点がままあり、新しく気付くことも多く、ご遺体からさまざまな知見を得て学ばせていただくこととなりました。

人体解剖学実習を終えて、最も印象深かったのは、お体の緻密さと複雑さです。人の体というものは、教科書で見るよりもずっと繊細な構造がいくつも連なり、あらゆる動作を可能にしており、それぞれの部位がその役割を果たしているのだと目の当たりにし、理解することができました。この実習から得た経験は、生涯忘れることはないと強く感じています。

最後に、改めまして献体してくださった方々のご決断とご遺族の皆さまのご理解に対し、深く感謝申し上げます。ご献体から学んだ全てのことを活かして、医師となり社会貢献できるよう、今後一層努力し続けます。

人体と医学への向き合い方を学んだ経験

この度、解剖実習でご遺体を解剖し学ぶ貴重な機会をいただきました。ご献体くださった皆様、ご遺族の皆様に深く御礼申し上げます。

解剖実習は私にとって、人体の複雑さと奥深さを痛感させるとともに、様々な感情をもたらすものでした。教科書や講義を通じて学び理解したと思っていても、実際に自分の目で見て手を動かすことは難しく、教科書通りではないことも多くありました。その際に丁寧に観察し改めて文献にあたることで多くの新たな学びがありました。また、人体の精緻なつくりを目にする度に驚きと畏れを感じ、それまで以上に人体に対して謙虚な気持ちを抱くようになりました。実習を終え、人間の体は理解したと感じても完全に理解することのできないものであると感じています。責任を持って患者さんの治療や医学研究にあたる身として、真摯な姿勢で医学を学び続け、人体を理解しようと努力し続けなければなりません。

解剖実習は望んでも容易には再び得られない経験です。医学を本格的に学び始めたこの時期に実習を通じて学んだことと抱いた気持ちを鮮明なまま持ち続けていこうと思います。改めまして、ご献体くださった皆様とご遺族の皆様に心から感謝いたします。

最初で最後の人体解剖

高校時代「医学部に行きたい」と友人や家族に話すと必ず「血とか見られる人なの？」と言われた。その時自分は毎回「多分大丈夫かな」とやんわりとした答え方をしていた。

実際に解剖実習が行われると、正直ぞっとした。このシートの下にご遺体がある、と想像しただけでも恐ろしさを感じてしまった。シートを捲り上げる時の、その場の緊張感は今でも忘れられないものである。

実際解剖が始まっていくと一つ一つの身体の作りの精巧さに感動した。ここで詳しく述べるのは控えるが、一つ一つの神経、血管、臓器、骨等がすべて合理的に出来ていることに驚きを隠せなかった。こうして驚嘆している間は、ぞっとする気持ちなど一切なかった。その時は夢中になって他のことなど一切考えられなかった。学びとはこういうものなのかと知った。

机上の空論という言葉がある通り、どうしても紙とペンで学べることには限界がある。こうした実習を用いることによって初めて学べることは多いし、濃い。ご遺体から学ばせていただいたことをこれからの医学に役立てたい、と強く感じた実習だった。

人体解剖学実習を通して

はじめに、献体してくださった方々、そしてそのご遺族の方々には心から感謝申し上げます。この経験は私にとって、医師になる上で改めて身の引き締まる、不可欠な体験となりました。

私はこの実習を通してまず、教科書だけでは理解しきれなかった人体の構造を深く理解することができました。実際の人体は個体差が大きく、また見分けのつきづらいものも多かったです。そのため、教科書等で知識をつけると同時に、実践的な知見も深めていくことが医師にとって不可欠であると学びました。

二つ目に、実際に手を動かしたことで、特に外科手術の場で、文字通り命を預かっているという責任の重さを感じました。ほんの一つの小さな操作で命を救うこともできるし、命取りにもなりうると感じました。

この学びを忘れずに、普段の学びに生かして参ります。改めて、このような貴重な成長の場を提供してくださり心から感謝を申し上げたいです。本当にありがとうございました。

人体解剖学実習を通して

二〇二四年六月十八日火曜日。人体解剖学実習の全ての授業が無事終了いたしました。最初は人体の構造についてほとんど知らなかった私でしたが、全十九回にわたる実習を通して私は多くのことを学ぶことができたと確信しています。実際に解剖を進めていく中で、図説をただ眺めるだけでは分からない個々の構造の立体関係を様々な角度から見て把握出来たことで、人体のマクロな構造理解にとても役立ちました。また、事前に学習したことを実際に解剖しながら自分の目で確認していく中で、改めて人体構造の複雑さ、神秘さに気づくことが出来ました。

私自身はまだ未熟者ですが、将来研究、臨床の場にたった時に、ここで得た知見を必ず生かしていけるよう、今後も勉学に励んでまいります。そして、多くの人の未来を作れるような医者を目指そうと思います。このたびは、人体解剖学をこのように実践的に学ぶ機会にて与えてくださり、本当にありがとうございました。

人体解剖実習で学んだこと

私はこの人体解剖実習を通じて、人体の仕組みに関する知識だけでなく医師になる自覚も身につけることができた。

これまで、医師を志し医学の道を選んできたが、いまひとつ医師になる実感は湧いていなかった。しかし今回の実習を通して、理由は様々であるが命を落としたご遺体を解剖し、「命」の重みを強く感じた。将来この「命」を救う医師という職業に就くのだとこれまでになく強く感じ、それに相応しい知識と人間性を身につけようと思った。

また、座学である人体解剖学と人体解剖実習を同時並行で学んだが、これによってより深い理解を得ることができた。座学でよく分からなかったことが実習を通じて理解できたり、実習でうまくいかなかった部分を座学で深く学んだりする過程を通して、これまでのどの授業よりも深い理解を伴った学習ができたと感じている。

このような得難い機会は献体してくださった方とそのご家族のおかげで得ることができた。そのことに深く感謝し、多くの人々を救える医者になれるようより一層努力したい。

解剖学実習を終えて

初めに、ご献体をしてくださった方々のご冥福をお祈り申し上げます。重ねて、このような貴重な経験の機会をいただけたこと、ご献体してくださった方とそのご家族様、並びに献体の会の皆様に深く御礼申し上げます。

実習に臨む際、事前準備として教科書や授業で体の構造を学びました。しかし、実際の神経や血管、筋の位置関係やその深さ大きさ、広がりというのは実物を目にして初めて理解できるものだということを痛感しました。

人体の構造は複雑で、しかしこの二か月、一体のご遺体を丹念に、連続的に解剖したことで、人体の組織器官がすべて一続きであることを実感しました。自分にとってこの気づきは、医師として患者さんと向き合う時、病変だけではなく患者さんという一人の人間をみつめるための第一歩だと考えています。したがって、日々研鑽を積み、できる限り多くの知識を蓄え、最善の治療を提案できるような医師を目指したいです。

最後になりますが、この度はこのような貴重な機会を提供して頂き、心より感謝申し上げます。今後の医学部での勉学に必ず活かしていきます。

解剖学実習での学び

この度、私たちは人体解剖学実習を終えることができました。これもひとえに、献体をしてくださった方々と、そのご家族、また献体の会の皆様のご協力とご理解があってのことと、心より感謝申し上げます。

解剖実習を通じて、私たちは人体の構造と機能について、教科書や講義だけでは得られない貴重な知識を身につけることができました。これらの経験は、将来の医療現場で必ず役立つものとなるでしょう。解剖実習を終えて、私たちは単に医学知識を深めただけではなく、人間としての成長も感じました。献体してくださった方々の思いや、そのご遺族の方々のご理解に支えられたこの経験は、私たちにとって一生の宝物となるでしょう。これからも、医療人としての使命を胸に、日々精進して参ります。

最後に、改めて献体してくださった方々、そのご家族、そして献体の会の皆様に深く感謝申し上げます。皆様のご厚意とご理解により、私たちはこの貴重な学びの場を得ることができました。この恩を決して忘れることなく、今後の医療に還元するべく努力していきます。

献体をしてくださった方とそのご遺族の方へ

献体してくださった方とそのご遺族の方には感謝の限りです。解剖学実習という献体してくださる方がいないと決して実現することのできない尊い実習に参加し、とても貴重な経験をさせていただいたことに本当に感謝しております。

毎回の解剖学実習では一つ一つの構造物を丁寧に紐解いていき、教科書やイラストのついた参考書をただ読むだけでは決して得ることのできないことを深く理解し、知識を深めることができました。しかし、人体の構造というのはどれだけ事前に予習をしても実習中に完全に理解することができた回はそれほど多くはなく、この経験もまた自分にとって大きな財産となりました。実習をしていく中で、命の尊さと向き合い、自分が将来立派な医者になるという決意をすることができました。

今回の実習を通して得られた人体の構造に対する知見や理解は今後医学の科目を学ぶにいたって根本となり、自分の将来を形作る重要な知見であると確信しております。将来の医学の発展のために、と進んで献体してくださった方そしてそのご家族の方にご恩を返せるように今後とも精一杯努力をしてまいります。

解剖学実習で学んだこと

今回の解剖学実習を通して私たちは、実際の遺体を解剖することで教科書や授業で学ぶことのできない多くのことを学ばせていただきました。

たとえば教科書では図やイラストでしか見ることのできない構造も、解剖させていただいたことでイメージがつきやすかったですし、複雑な構造が何層にも重なってできているのだと実感することができ、とても勉強になりました。特に、予習をしていくことで自分のわからないことが具体的になり、実習を通してその部分の理解を深めていくことができて、とても有意義な実習にすることができました。なかでも神経を同定する過程においては、教科書や授業では枝分かれやどこを支配するかなどを学ぶことはできてもどのように走行するかイメージするのが難しかったです。しかし、実際に解剖させていただき、自分自身でどの神経か見つけることでどのようにはりめぐらされているかや、どこを支配しているからこの場所を走っているなど、より具体的な形で理解することができました。

解剖を経験して

はじめに私達が解剖学を学ぶにあたって、献体してくださった方々とご遺族の方々に心より感謝申し上げます。人生において大変貴重な経験をさせて頂くことができました。

解剖学を勉強するにあたり、紙面上の平面的な画像や部分的な情報では立体的な位置関係を把握することが難しく、実際に観察することは学習において大変参考になりました。特に人体の構造はかなり複雑になっており教科書では省略されている部分が見られたり、変異が見られたりするなど予想できるようなものではありませんでした。同時に人体はこのような複雑な仕組みの上に成り立っているということをしみじみと感じました。

実習を通してご遺体を解剖することで、実際にリアルな医学に向き合うことが出来、学習意欲が大いに向上したと感じております。将来も解剖の経験を忘れないであろうほどの印象深いものでした。改めてこのような貴重な機会を下さった方々に感謝をするとともに、いっそう医学の勉強に励んでいきたいと考えております。

解剖実習を終えて

はじめに、今回献体をしてくださった方々、またそのご遺族の皆さまに深く感謝申し上げます。講義や教科書では理解が難しかった部分も、三ヶ月間の解剖実習を通して、実際の構造を目で見ることでより、今までよりも人体を深く理解できたと感じております。教科書や図表で見る人体の構造と実際の構造では異なる部分があったり、また、人によって少しずつ様子が異なっていたりして、人体の複雑さ、繊細さを実感し、ますます人体に対する興味が深まりました。

また、実際にご遺体を自分の手で解剖させていただくという経験を通して、命の尊さと、それを預かる職業である医師の責任の重さを実感し、身の引き締まる思いです。解剖実習で学ばせていただいた基礎を大切に、今後の学習に真摯に取り組むことで、今回の経験を還元できるよう精進いたします。

繰り返しになりますが、私たちにこのような貴重な機会を与えてくださった全ての皆様、本当にありがとうございました。

解剖学実習を通して

人体解剖学の実習を通して、全て順調に、計画通りに進められた訳ではありませんでした。しかし、実習を行って初めて学べることというのがたくさんありました。もちろん、それは教授の講義を聞いたり、人体の部位や臓器の名称を勉強したりした上で得られた学びであり、事前の知識が無いまま実習を行っても何が何だかさっぱり分からなかったと思います。

教科書で見た通りの構造を実際に自分の目で見られることもあれば、あるいは逆に、教科書の図に描かれていたものや自分の想定していた構造とは少し異なっていることもあり、「やっぱりこうなっているのか」と腑に落ちたり、「実際にはこんな感じなんだ」と驚きがあったりと、まさに机の上でする勉強だけでは得られない学びや発見が多くありました。

今回の実習で得られた学びを、必ず今後の学習に活かして参ります。このような貴重な学習の機会をいただけたこと、献体してくださった方、そしてご遺族の方々に深く感謝しております。

本当に、ありがとうございました。

人体解剖実習から学ぶ「人間とは」

はじめに、献体してくださった方々及びご遺族の方々に心より感謝を申し上げます。人体解剖実習を通して、実際に解剖する以外では得られない解像度で人体の構造について理解をすることができました。

私は実習に臨むにあたって講義や教科書を通して知識を深め、実習手順については最善の注意をはらって予習を行いました。しかし、実際に解剖を行うと人体の複雑さに驚かされるばかりでした。教科書のみでは分からないことがほとんどで、それを一つ一つ理解していくことに感動を覚えました。

また、人体の構造を理解すると同時に生命の尊さをも実感しました。献体してくださった方々がこれまでどういった人生を送ってきて、どのような思いで協力をしようと考えたのか。そのように考えると感謝の気持ちに満たされ、初めてメスを入れた瞬間はこれまでの世界観が一変するような経験でした。

医師になる上でこの三ヶ月で身につけた解剖学の知識や生命に対する価値観は欠かすことのできない財産となりました。この様なかけがえのない経験ができたのは協力してくださった皆様のおかげです。皆様の期待に応え、世界を変えられる医師になれるよう日々努力します。

解剖学実習を通して感じたこと

まずは献体してくださった方々、遺族の方々に心より感謝申し上げます。解剖学実習を通して、座学として学習していた内容を触覚や視覚の情報として深く理解することができました。

教科書で学んだ通りの構造を見ることができて感動したこともあれば、教科書通りの構造を見つけることができなかったり、ご遺体によって変異があったりと人体の複雑さを実感することもありました。このように、手を動かし目で見て学ぶことができたのは、解剖学を学ぶうえでこの上なく貴重な経験でした。机の上で勉強しているだけでは頭に入ってこなかった複雑な人体の構造が、実際に解剖し、自分で探り当て、見つけることができるとスッと頭に入ってくる感覚を覚えました。医学を勉強するうえでは、膨大な知識を詰め込むだけではなく、さまざまな技術や、医学に貢献しようという心が大切なのだと解剖学実習を通して感じました。

今回献体してくださった方々や遺族の方々への感謝を忘れず、学んだことを将来臨床や研究に生かして社会に還元できるように、日々学びを続けていきたいと思います。

私たちが担う医療

解剖学実習という貴重で学びの多い機会を賜り、ご献体くださった方に心より感謝申し上げます。

私は過去に祖父が白血病に罹った経験から、臨床と研究の両面からがんの治療に携わることのできる医師になりたいと思っています。解剖学実習では、ご遺体の解剖を通して人体の様々な構造を、肌をもって学び、教科書やアトラスとは全く異なる理解を与えてくれました。果てしない事前予習と知識をもってしても、実物に触れ、メスを入れることで得られる想念、了知には到底敵いません。実習で得られた実感と理解は、私たちそれぞれが掲げる医師像への道を開く鍵となったことを確信しています。

実習前の黙祷を繰り返し、眼を瞑るたびに、私は命の尊さと重さを胸にやきつけ、人々の命を預かり救う医師になるのだという覚悟が強くなっていくようでした。私たちが担う将来の医療への希望、期待からご献体くださった方とそのご遺族の方、そしてその道を示してくれた東京医科歯科大学の先生方、ともに研鑽に励んだ学生の皆様に重ねて感謝するとともに、そのご期待に添えるよう、これからも不撓不屈の努力を重ねていく所存です。

解剖実習を通して得られたこと

はじめに、献体をしてくださった方、そのご遺族の方々、並びに献体の会の会員の皆様に、このたびの解剖実習につきまして、心より感謝申し上げます。

解剖実習ではたくさんの学びや実りを得ることができました。例えば、実習中には、教科書や実習の手順書に書かれている構造物がなかったことや、変異しているため違う順番で存在しているなど、人間の体は人それぞれ違いがあるのだと、改めて実感することができました。また、座学の二次元のイラストや写真ではあまり理解が深まらない三次元的な構造関係につきましても、実際に自分の手で解剖実習を進めることで理解を深めることができました。さらに、この実習全てを通して、人間の体の複雑さや人間の体について学ぶべきことの膨大さを、身をもって感じました。このような学びを糧に、より一層医学を深く学び、精進していこうと思っております。

最後に、重ねてになりますが、このような解剖実習の貴重な機会を与えてくださった、全ての方々に心より感謝を申し上げます。

解剖実習を終えて

初めに、献体してくださった方々とご遺族の方々に心から感謝申し上げます。

二年生の四月に始まった解剖実習ですが、一年生のうちから不安を感じていました。自分の手でご遺体を解剖するということがどういうことか、想像もできなかったからです。そして、実習初日ついにメスを握り、やはり緊張と不安が沸き上がりました。しかし同時に、献体してくださった方々とご遺族の医学教育に対する思いを考えると、気が引き締まり、しっかり学ぼうという意思がさらに強くなりました。

実習では、実際の体と教科書に描かれた図との違いを痛感しました。教科書で描かれる人体には開けた空間がありますが、実際の人体はありとあらゆる空間が様々な組織や構造で埋め尽くされていたのです。また、人体の精密さと非常によく設計された機構に驚きました。教科書で描かれるよりも実際の臓器ははるかに精巧に作られており、とても人類の理解の及ぶ範囲を超えているとさえ感じました。それでも、患者さんの病を治す為には、少しでも人体に対する知見を増やす必要があります。将来は、医学研究の道に進み、努力を続けて少しでも多くの病を治せるよう精進していこうと思います。

ご献体してくださった方々へ

まずは、今天国におられる献体をしてくださった方々、そして、その遺族の方々、医学の研究や、私たち医学生の学びのためにそのご遺体を無償で提供してくださり、本当にありがとうございます。心からの感謝と尊敬の念を抱くばかりです。

医学部に入り、教養課程を一年間修了した後、期待と不安が入り混じったまま、二年生になりました。これから本格的な医学の勉強が始まるのだと身構えながら臨んだ医学部二年生、最初の大きな壁は人体解剖でした。ご献体してくださった方や遺族の方々に失礼のないようにできるのか、自分に人体の細かい構造物など同定できるのかなど、いろいろな不安がありました。しかし、人体に対して、果ては解剖という行為に真摯に取り組み、大きな成果を得られたと実感しております。

これから三年生、四年生と学年が上がっていくにつれ、医学という学問についてより一層学を深めてまいりますが、二年生の人体解剖を通して学んだものを常に一番大事な基盤としてもち、学び続けていきたいと思います。本当にありがとうございました。

人体解剖学実習を終えて

はじめに、献体してくださった方とそのご遺族の方々、そして私たち医学生の教育の場として、人体解剖学実習という機会を与えてくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。私は今回の実習を通して非常に多くのことを学ぶことができたと感じています。

実際に自分の目でご遺体を見ることで、人体解剖学の講義で得た知識をより頭に定着させられただけでなく、講義で教わる平均的な形とは異なるそのご遺体特有の特徴などに出会った際に自分の頭で相違点や因果関係について考察したりすることでより人体の構造についての理解を深めることが出来ました。また、人体解剖学以外の面でも得られるものがありました。それは、将来医師になるという自覚とそれに伴う責任感です。ご遺体を解剖するという機会を得られているのは、自分が医学生で将来人の命にかかわる仕事に就くからであり、そうである以上、命の尊さと向き合い、医師になる覚悟を持たなければならないと強く感じました。

この実習で得たものを心に留め、今後も医学の勉強に励んで参ります。重ねてこのような貴重な機会を提供してくださったすべての方々に心から御礼申し上げます。

解剖学実習の後で

初めに、献体してくださった方々、またそのご遺族の方々への感謝を述べさせていただきます。このような機会を下さり、本当にありがとうございました。

解剖学実習を終えた今、振り返って考えてみた際に強く印象に残っていたことは、実習の中で見た人体の構造の多様さでした。今回はお一方のご遺体を観察させていただきましたが、それでも教科書に載せられているものとは異なる構造に何度も出会いました。机上で学んだイメージとは異なる組織の形態を前に、医療の現場で人と向き合う際には、いかに臨機応変さが大切になるか、ということを改めて感じました。そしてそのためには、より多くのことを知らなければならないということも痛感しました。この体験を経て、勉学により一層励もうとの思いを強めました。

もう一つ印象に残ったこととして、生前、ご遺体に施された治療の痕跡を見ることが出来たことがあります。実際になされた治療の跡に触れた体験は、将来携わるであろう医療の現場を想像させ、目標をより形を持ったものに変えてくれたように思います。

この貴重な体験を糧に、これからも努力し続けたいと思います。ありがとうございました。

人体解剖学実習を終えて

はじめに、献体してくださった方、並びにご遺族の方々に深く感謝申し上げたいと思います。座学だけでは決して学ぶことができないことを学べた、かけがえのない貴重な機会を提供していただき、感謝が尽きません。

医学部に入学して専門科目の授業が始まってからというもの、人体の構造・機能など医学の基礎を勉強してきましたが、その学びが甘かったことを今回の人体解剖実習で痛感しました。教科書でしか見たことがなかった構造を実際に学ぶことができ、また教科書通りではない構造も多くあり、人体の奥深さを感じることもできました。さらに、実際にご遺体を解剖するという経験を通して、人の命を預かる医師の責任の重さを、身をもって理解し、より身が引き締まりました。

今後は、人体の構造・機能をふまえたうえでの臨床医学の授業や病院実習などがありますが、今回の人体解剖実習で得た知識・経験を生かして精力的に勉強し、立派な医師になりたいと思います。改めて、このような貴重な機会をいただき、献体してくださった方、並びにご遺族の方々に感謝申し上げます。

解剖学実習を通して学んだこと

初めに、献体してくださった方々、ならびにご遺族の方々に、解剖という非常に貴重な経験をさせていただけたことを、心より感謝申し上げます。

この解剖学実習を通して、人体の構造について深く理解することができたとともに、命というものの重さを改めて実感しました。また、血管や神経の分布は人によってさまざまであり、教科書に載っていない構造もたくさんあるのだということを、実際に目で見て学習することができました。また、どうしても平面の教科書では理解できない、人体の立体的で複雑な構造を、実習を通して深く理解することができました。このような立体的配置を具体的にイメージできることは、これから種々の疾患について学んでいくときに役立つと思います。非常にありがたい気持ちでいっぱいです。

これから、このような貴重な実習の機会を提供してくださった献体してくださった方々ならびにご遺族の方々への感謝を忘れず、この実習で学んだことをしっかりと生かして医学に真摯に向き合い、立派な医療人を目指していきたいと思います。

解剖実習で学んだこと

今回の三ヶ月にわたる人体解剖実習は大変貴重な経験であり、ご遺体を解剖することでしか得ることのできない多くのことを学ぶ機会となりました。

実習中に最も驚いたことは、人体の複雑さです。教科書には重要な構造しか描かれておらず、予習の段階ではそれらをイラストと写真で見ることしかできません。実際に見るヒトの体の構造はより複雑で、特に神経や筋肉を特定しその関係を明らかにすることなどは難しく、机の上では得られない学びがありました。

また、人体解剖学の講義では「この神経が障害されるとこのような病気になる」などと臨床の病気と関連づけられた内容を教わっており、そのようなことを意識しながらご遺体を解剖する中で、将来自分が医師になる自覚や人の体にメスを入れる資格を持つことへの責任を改めて認識することができました。人体の構造の知識だけでなく、このような気持ちを忘れずに今後とも医学を学んでいきたいと思います。

改めて、献体してくださった方とそのご家族に深く感謝を申し上げます。医師への道は決して平坦ではないと思いますが、今回の実習で得た学びを胸に、さらに努力を重ねていきたいです。

献体してくださった方々とご遺族の皆様へ

この度は、皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。献体してくださった方々のおかげで、医学教育と研究が大いに進展しています。遺体を提供してくださるという行為は、決して容易な決断ではありません。それにもかかわらず、未来の医療に貢献するという高い志を持ってくださったことに心から敬意を表します。

遺族の皆様におかれましても、大切な方を失った悲しみの中で、このような貴重な決断を支持していただいたことに、深く感謝いたします。私は皆様のご厚意に支えられながら、これから熱心に学び多くの人々に貢献したいと考えています。

私たちは授業動画を見てしっかりと予習してから感謝の気持ちを忘れることなく解剖に臨んでおります。皆様のご厚意が、どれだけの人々の命を救うことになるのか、計り知れません。

今後も、皆様のご期待に応えられるよう、さらに努力を重ねて参ります。改めまして、献体してくださった方々とそのご遺族の皆様に、心より感謝申し上げます。

解剖実習を終えての感謝の気持ち

初めに、今回の解剖学実習のために献体して下さった方、及びご遺族の方々に感謝申し上げます。皆様のご厚意により、自分は医学の理解を深めることができ、将来医療に従事するに当たっての非常に重要な経験をすることができました。

解剖学実習では、実際に器官の位置関係を視覚的に理解することができ、解剖学の座学講義で学んだことと結びつけながら理解することができました。解剖学実習にはできる限りの予習をして臨んだつもりでしたが、予習段階では想像すらしなかった構造を目にした時には、人間の複雑かつ繊細さに驚かされました。

この経験は非常に有意義で貴重なものでした。医師になる上で非常に重要な経験だったと感じています。これからも、勉強に励み立派な医師を目指していきたいと思います。

最後になりますが、今回の解剖学実習のために献体して下さった方、及びご遺族の方々に重ねて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

命の荘厳さ

はじめに、献体をしてくださった方と、そのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

解剖という医学教育において非常に重要な分野を、実際に自分の手で行うという貴重な経験は、これから先の学びに大きな影響を与えるとともに、医学に対する姿勢を見直す機会を与えてくれました。

人体とは、これから先向き合い続けなければならないですが、その多様さと緻密さは、簡略化を重ねた教科書からは決して知ることのできないものでした。まだ命に対する認識が曖昧であった私にとっては衝撃であり、命の荘厳さというものが、言葉にしがたいながらも自分の中ではっきりと意識できました。この荘厳なものとどのように関わり、寄り添っていくのか、医療従事者としての人生を通して考えていかなければなりませんが、今回の経験は、その答えに近づくための大きな力となりました。

最後になりますが、改めまして、献体をしてくださった方々、ご遺族の方々をはじめとした、今回の実習に協力をしてくださった方々に深く感謝申し上げます。

人体解剖学実習を通して

初めに、献体してくださった方、そしてその遺族の方々に、貴重な機会を提供してくださったことを心より感謝申し上げます。

人体解剖学実習を通して、私は人体の構造がいかに複雑で教科書通りではないのかということを痛感しました。実際の解剖実習では想像以上に構造物が複雑に配置されており、目標の構造物を同定することは非常に困難でした。教科書は平面図で書かれていますが、実際では構造物が立体的に入り組んでいるためです。解剖実習の班のメンバー全員で頭をひねってみても解決しないことが多々あり、そのたびに自らの知識不足を痛感させられました。

このように解剖実習は非常に難しく思うように進みませんでしたが、その分これからの学習で大きく活かすことができると感じました。学年が上がるにつれてより臨床的になっていく医学部教育において、今の段階で人体の複雑さを身を持って学ぶことは、非常に貴重な体験でした。

繰り返しになりますが、献体してくださった方、そしてその遺族の方に深く感謝を申し上げます。医学に貢献するためにより一層勉学に励んで参ります。

人体解剖学実習で学んだこと

はじめに、今回の人体解剖学実習において献体してくださった方やそのご遺族の方々、献体の会の会員の皆様をはじめとするご協力頂いた方々に心より深く感謝申し上げます。

この実習では日々の講義や教科書からでは得られないものや、実際に自分の目で観察することの大切さを知ることが出来ました。また、人体は教科書通りになっていないことや一人一人異なっていることも多く、多様さや複雑さといったものを感じました。そして、この実習で学んだことはこれから学んでいくすべてに通ずるものがあり、とても重要で貴重な経験をすることが出来ました。

また、解剖実習ではなにより将来命と向き合っていく職に就くという実感を強く感じることが出来ました。今回学んだことを忘れることなく将来に活かし、社会に貢献できる医者になれるようこれからも日々精進してまいります。

改めて、献体してくださった方やそのご遺族の方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて

はじめに、献体してくださった方々並びに、そのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

実習では、単に講義を受けるだけでは得られない深い学びを得ることができました。実際に様々な器官の大きさ、立体的な位置関係などを確認したことで、より知識を定着させ、深く理解することができたのではないかと感じています。

しかし、教科書や資料を見て実習に臨んでも、実際には個人差があり、神経や血管などの同定に苦労した場面も多くありました。将来、私が医療を提供する際に、このような神経や血管を一つでも傷つけてしまうと大事に至る可能性があるのだと考えると、身の引き締まる思いがしました。同時に、患者一人一人に向き合う医師の責任の重みを痛感し、献体してくださった方々の期待に応えられるような医療を提供できるようにならなければならないのだ、という医療者として決意と自覚を固める機会になりました。

この貴重な経験を胸に、将来の医療に貢献できる立派な医師になれるように精進してまいります。改めて、この度は医学の教育や研究のために献体をしてくださり、本当にありがとうございました。

解剖学実習を通して得られた経験

初めに、献体をしてくださった方々、そしてそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

みなさまのご協力に支えられて、私たちは医学生としてとても貴重な経験をさせていただくことができました。

今回の解剖学実習では、実習前に人体の構造や組織について事前の講義や小テストを通して十分に学習したうえで、実際にご遺体を目の前にして解剖していくことで、とても有意義な学習を行うことができました。講義や教科書ではっきりとわかりにくい部分を理解することができ、また実際の人体においては教科書や資料に載っていることとは異なる部分もよく見られ、お一人ごとに特徴があるということを理解できました。

さらに毎回の実習前に黙祷を行い、献体をしてくださった方に思いをはせることで、いままで十分に理解できていなかった、人の命を預かるという医師としての責任、そして医師に将来なるという自覚を身につけることができました。

これから私たちはさらに医学の学習を深め、実習を行い、医療の現場に出ていくこととなります。今回の実習によって得られた唯一無二の経験を忘れず、将来に生かしていきたいと思います。

感謝

はじめに、人体解剖学実習のために献体してくださった方並びにそのご遺族様に深く感謝申し上げます。この解剖実習を通じて、私たちは医療の基礎を深く理解する貴重な機会をいただきました。

解剖実習では、人間の体の複雑な構造や機能について、教科書や講義だけでは得られない具体的な知識と経験を学ぶことができました。特に、臓器や組織の位置関係や構造を直接確認することで、解剖学の重要性とその奥深さを実感しました。臓器や組織の細部まで観察し、その働きについて理解を深めることができたのは、まさに献体してくださった方々のご厚意のおかげです。

また、解剖実習を通じて、人体の神秘と生命の尊さを改めて感じることができました。献体してくださった方々の勇気とご遺族の方々の理解と協力に深く感謝するとともに、その思いを忘れることなく、医療に携わる者としての責任をしっかりと果たしていくことを誓います。重ねて、感謝の意を表します。ありがとうございました。

解剖実習を通じ学んだこと

献体してくださった皆様、ご遺族の皆様に心より御礼申し上げます。おかげさまで得難い経験をし、他の方法では得られないような深い学びを得ることができました。

解剖学の授業が始まり授業動画を視聴していく中で、構造の上下左右や奥行きを画面上の図や写真で理解することに限界があることを実感しました。そのようななかで実際に解剖実習を始めてみると、単なる立体的な位置関係の理解のみならず、個々の図では省略されるほかの組織との関係性まで考えることができるようになりました。

また、実習を進めていく中で、個々人のもつ生物学的な違いというものを改めて考えるようになりました。変異の割合など、数字で表されたものを資料の中で見ているととても稀でめったにないことのように感じられますが、実際に実習を進め変異のパターンを確認する中で、大半はこうだから、と思い込まないことの大切さを学びました。

改めて献体してくださった方々、ご遺族の方々に深く感謝を申し上げます。これから先も勉学を怠らず、この実習で得た経験を必ず今後の医師としての仕事に生かして参ります。本当にありがとうございました。

実習後の決意

解剖学実習の初回、私は衝撃を受けました。

すでに医学の授業が始まっていたこともあり、漠然とした実感はようやく芽生え始めていました。しかし、ご遺体と対面することで、私が生涯をかけて取り組む学問は、多くの人々の献身の上に成り立っているのだということが身をもって感じられました。

友人たちの中には、実習を経て医学部生としての自覚が出てきたと言う者もいます。しかしながら、私は医療に携わる人材に値するのか不安になりました。

実習においては、自分なりに予習し臨んだつもりです。ですが、実習が始まってご遺体と相対すると、参考書の図との差異や疾患の様相などに焦らされ、思うように進まないことがしばしばありました。その度に、献体していただいた方やそのご遺族の期待や献身に応えられているのか、応えられるようになるのか不安が募るばかりでした。そのように悩む私に対し、友人らの学びを追求する姿勢は、不安を抱えながらも研鑽し続けることしかないと気づかせてくれました。

将来、ご遺族や献体してくださった方のご協力に応え、医学を、医療を、そして患者の方を支えることのできる人材となれるよう、努力し続けます。

ひとりひとりの献体、患者と向き合うこと

はじめに、献体をしてくださった方々およびそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

実習を通して、人体の構造は教科書や授業の中で学ぶ理論とは異なり、ひとりひとりに個性があることを実感いたしました。座学だけでは得られない実際の体験によって、骨や筋肉、内臓の配置や質感の違いを目の当たりにすることができました。これにより解剖学の理解を深めることができました。

また、実際に人体に触れることで、将来医師として患者さんと向き合う覚悟がより一層強まりました。患者さんひとりひとりが持つ身体の特性を尊重し、常に最善を尽くす姿勢を忘れずに持ち続けられるような医師になりたいと強く感じました。我々医学生の学びは多くの方のご理解とご協力のもとに成り立っているということを忘れず、これから先も医学の道に精進して参りたいと思います。

最後に、改めて献体していただいた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族のみなさまに深い感謝の意を申し上げます。

人命への心構えを見直すきっかけに

人体解剖学実習を通して学ぶことには、主に人体の構造の理解ということが挙げられるだろう。私も人体解剖学の学習には非常に苦手意識があり、苦労したところであるが、今回の実習は具体的な観察を自分の手を用いて行えたために、学習において重要な指南書となった。しかし、解剖実習の前後で私が最も変化したことといえば、解剖学の知識よりむしろ人の命への向き合い方である。

解剖実習を終えて、今までの自分について振り返ってみた。医師である父の働きぶりをなんとなしに眺めていただけの私は、医療とは数えきれないほど多くの命を扱うため、一つ一つの命を重く捉えすぎず、淡々とこなしていくべきだと考えていた。生命に対し、非医療従事者とは異なった、ある種の冷酷な思想を持つことこそが、命を救うために必要だと思い込んでいた。

約三ヶ月にも及ぶ期間、同じご遺体と向き合い観察していく中で、私は徐々に、人体がいかに繊細かつ強大なものであるかを感じてきた。命があるということへの尊さを強く感じた私は、それまでの認識を大きく改めた。すべての命が重いことを決して忘れないまま、平等に向き合っていくことこそが医療であると気づけたのだ。

解剖実習を終えて

解剖実習を通じて、教科書や講義で学んだ知識が実際の人体とどのように対応しているかを深く理解することができました。実際の臓器や組織を目にし、手に触れることで、理論と現実のギャップを埋める貴重な経験となりました。また、人体の構造の複雑さを改めて実感しました。各臓器や組織がどのように連携して機能しているのかを目の当たりにし、その美しさに感動しました。他にも解剖班で協力して解剖を進めることで、チームワークの重要性を知りました。班員それぞれが自分の長所を活かし、情報を共有し合うことで、より深い理解が得られました。そして、献体してくださった方の貴重な遺体を扱うことで、生命の尊さを再認識しました。これらの多くの学びを得られたのは、献体してくださった方々のおかげです。学びの機会を与えてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、解剖実習によって、さらに深く医学を学びたいという意欲が高まりました。解剖で得た知識とスキルを、将来の医療現場で役立てたいと思います。

解剖実習を終えて

まず、献体をしてくださった方々、並びにご遺族の方々に心より感謝申し上げます。尊いご意志により、私たちは大変貴重な学びの機会をいただくことができました。

二年生になって専門科目の勉強が本格的に始まった中、解剖実習は医学生になったことの自覚を強く持つ初めての契機でした。実際にご遺体に対面し実習をさせていただく中で、座学だけでは決して得られないような学びを得ることができ、今後忘れることのない経験となりました。

実習が行われていた期間は、多くの学びを得させていただけるものだったと同時に、自身が医学の道を選んだということを自覚し意識を新たにし続ける機会となりました。献体にご協力いただくことを決意して下さった皆様の尊いご意志に応え、一人前の医師になることができるように今後も努力と研鑽を積んでいきたいと思います。

改めまして、献体をして下さった方々やご遺族の方々をはじめ、本学の解剖実習に関わっていただいたすべての皆様に重ね重ね感謝申し上げます。

人体解剖学実習を通して

この度、解剖学実習にご協力いただきました献体者の方々、並びにそのご遺族の皆様へ、心より感謝申し上げます。

解剖学実習という貴重な機会をいただき、実際のご遺体を通して人体の構造や機能を学ぶことができたことは、私たち医学生にとって非常に有意義な経験となりました。教科書や講義だけでは得られない、実践的な知識を身につけることができ、これからの医療現場での応用に役立つと確信しております。

また、毎回の実習の開始時に行った黙祷を通じて、献体者の方々への感謝の気持ちを新たにし、高い学習意欲を持って実習に臨むことができました。解剖を通じて得た知識や経験は、今後の医療において患者様の負担を減らす技術の開発や、より質の高い医療を提供するための基盤となるものです。

このような貴重な経験を与えてくださったことに対し、深く感謝の意を表します。そして、献体してくださった方々のご冥福をお祈り申し上げます。これからも皆様のご期待に応えられるよう、日々精進してまいります。

本当にありがとうございました。

人体解剖学実習を通して得られた経験

この度、私たち東京医科歯科大学の学生は、献体してくださった方のおかげで、実りある学習を行うことができました。心から御礼申し上げます。

私は人体解剖学実習を通して、想像していたよりも深く人体の解剖学的な構造、機能について学ぶことができました。教科書を含む紙の資料では、実際の人体の各器官、組織の立体構造、色、触感を知ることはできません。実際に人の体に触れ、よく観察することで経験できたこれほどに深い学びは、実習なしでは決して得ることができません。

また、人体解剖学実習を通して、医学生のあるべき姿について、改めて考えることができました。献体してくださった方々やその遺族の方々は、私たち学生の教育や研究を通した医学の発展を願い、ご遺体を無償で提供してくださっていると思います。私たち学生は、その思いに、微力ではありますが、可能な限り全力で応えようと勤しむことが必要であり、また同時に誉れでもあります。このような、整った学習環境に身を置くことができ、自身の努力により医学に貢献することができる幸せを噛み締めながら、これからも学習を深めていきたいと思いました。

人体解剖実習を終えて

はじめに、今回の解剖学実習につきまして献体してくださった方や、そのご家族の皆様、そして献体の会の皆様をはじめとするご協力いただいた皆様に深々と感謝申し上げます。

解剖学実習では、献体してくださったかたの意思を決して無駄にしてはならないという強い思いを持って予習・復習・議論を怠らずに深い学びをすることができました。今まで座学で学んできた知識が初めて現実の体と結びつくような感覚を持ちました。実際の体の中の構造は教科書の中のものとは全く異なっており、それを見させていただくことのできる解剖実習の比類ない大切さや人体の神秘さを感じました。

今回の実習は人体の構造について学べたのみならず、将来医師となる身としての自覚がより一層湧いたように思えます。今回の実習で得た知識や心構えはこれから医師の道を進む上で、大きな指針になりました。改めてこのような学びの場を提供してくださりありがとうございました。

人体解剖学実習を終えて

初めに、献体してくださった方々とそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。人体解剖学実習を通して、私は医学生として大きく成長することができたと思います。

実習を通して私は、人体の構造の複雑さを改めて実感させられました。教科書のイラストや写真ではうまくイメージができなかった構造も、実際に自分の手で解剖を進めることでその形状や位置関係を理解することができました。一方で、実際の構造が教科書を見て自分が想像していたものとは異なることも多々あり、人間の身体は一人一人違うことを身をもって学ぶことができました。将来医師として患者さんに接する際も、一人一人に親身に向き合うことが重要だと実感しました。

また、実習前の黙とうの中で献体してくださった方に思いをはせ、自分が医学生として成長できているのは、こうしたたくさんの方々の支えによるものだということを実感しました。今回の解剖実習を通して得た知識と経験を生かして、これからよりいっそう勉学に励んでいこうと思います。

改めまして、このような貴重な機会をくださった方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

解剖学実習を通じて

今回の解剖実習を通じて、私は医学の学びにおいて非常に重要な経験を得ることができました。この貴重な機会を提供してくださった献体してくださった方とそのご遺族に、心より感謝申し上げます。解剖実習を通して、教科書や講義では得ることのできない学びができました。

特に、実際に手を動かして解剖を行うことで、人体の複雑さや精巧さに対する感動を持ち、生命の尊さや医療の重要性を強く感じました。献体してくださった方の身体を通じて学んだ知識と理解は、将来の医療の現場で大いに役立ち、多くの命を救う手助けとなると思います。医師を志す者として、この経験を通じて得た知識や技術を将来の医療現場で生かし、多くの患者さんのために貢献していきたいという決意を新たにしました。

改めて、献体してくださった方とそのご遺族に感謝いたします。私たちの学びと成長は、皆様のご厚意によって支えられていることを決して忘れず、今後自分のやるべきことを全うしていきます。

解剖学実習を終えて

はじめに解剖学実習において献体をしてくださった方、遺族の方々には深く感謝申し上げます。

解剖学実習では、事前にしっかりと予習をした上で、毎回詳細に人体の構造を確認するという形で実習が進められました。イラストや図では理解がしにくかった場所も、この実習を通して十分に理解出来ました。

また、これまでの座学と異なり、実際にご遺体を解剖することで将来医師となることの重みを感じることが出来、何物にも得がたい経験だったと考えます。このような機会を下さったことを本当に心から感謝しています。今回献体してくださった方はもちろん、これまで本学に献体してくださった方々、その遺族の方々のお気持ちがあって私たちの学習が成り立っていることを理解しながら、これからも勉学に励んでいきたいと思います。このような気持ちを忘れずに今後の医学にも今回の実習での学びを生かしていきたいと考えています。最後にはなりますが、今回の実習での貴重な経験をありがとうございました。

解剖を通して学んだこと

はじめに、献体に協力してくださった方、そしてそのご家族の方に深く感謝申し上げます。解剖の授業を通して、私は多くのことを学ぶことが出来ました。

人体を解剖する目的は、授業で学んだ構造を立体的に観察し理解を深めることだと考えます。そのため、解剖をするにあたり事前に十分に予習をしました。しかし実際に解剖を進めると、数々の障壁に直面しました。目的の組織が脂肪によって覆い隠されていたり、解剖の教科書と位置がずれていたりしたのです。私たちは、その都度試行錯誤を繰り返し、時には先生に教えてもらい何とか解剖を進めていきました。

今回の解剖を通して、私は教科書では学べないリアルな人体の構造への理解が深まりました。また、将来外科医となり手術をするのであればもちろんですが、内科医となっても今回の解剖で学んだことは必ず役に立つと思います。重ねて、この度はご献体に協力してくださり本当にありがとうございました。

解剖学実習を通して得た学びと感謝

はじめに、献体してくださった方々とそのご遺族の方々に対し、この場を借りて深く感謝申し上げます。

解剖学実習を通じて、座学で学んだ人体の構造を実際に見ることで、各器官の立体的な配置やつながりを深く理解でき、大変勉強になりました。しかし、十分に予習をしたつもりでも、実際に解剖を行うと自身の知識不足を痛感することがあり、さらに勉強を進めていく上での原動力となりました。また、ご遺体を解剖する中で、教科書通りではない構造に出会うこともありました。予習で得た知識との違いに戸惑うこともありましたが、その度に私たちは個々の人と向き合っているのだと強く実感しました。これは将来、患者さん一人一人と接する上で大切な気づきだったと考えています。

ご自身の身体を献体してくださった方々やそのご遺族の方々が、どのような思いで献体を希望されたのか、また大切な方の献体をご了承くださったのかを考えると、身の引き締まる思いです。解剖学実習で得た学びを生かし、将来世の中に貢献できる医師になれるよう、日々努力していきたいと思います。

人体解剖学実習を通して

初めに献体をしてくださった方、そしてご遺族の方々へ深く感謝を申し上げます。この度は私たち医学生にとって大変貴重で重要な経験をさせていただきありがとうございました。

この人体解剖学実習で我々は、座学で学んできた体の構造や仕組みを再確認すると共に、更なる理解を深めることが出来ました。

初めての解剖では、手や足が震えるほど緊張して解剖台の前に立ったことを覚えています。ですが、念入りな予習と先生の手助けや仲間との協力で、その不安も少しずつ無くなっていき、常に緊張感はありながらもどこか安心して実習を行うことが出来ました。

解剖学実習を通して人体の構造の繊細さや、その美しさ、命の尊さを心に刻みました。また、医師としての意識が再び強く芽生え、自分の目指す医師像や目標を再確認するきっかけともなりました。

最後に、献体をして下さった方、ご遺族の方、かけがえのない体験をさせていただき本当にありがとうございました。

解剖学実習で得た医学への洞察と感謝

初めに、献体してくださった方々及びご遺族の皆様、解剖学実習というかけがえのない経験を可能にしてくださったことに心より感謝申し上げます。この実習を通して、人間の生命が巧妙で複雑な構造物の相互作用によって維持されている神秘に感銘を受けました。

座学で学ぶ以上に実際の構造物は複雑で、最初は特定するのが困難でした。しかし、毎回の実習で手を動かし、疑問を持ち、学びを重ねることで、自分の「見る力」の成長を強く実感しました。この力により理解が深まったことは、今後の医学の学習や私が志望する外科医の分野で役立つと確信しています。

解剖学で学んだ肉眼で見える構造物以上に、人体にはさらにミクロな世界が広がり、まだ解明されていないことも多いです。医学の分野が奥深いことを再認識しました。

また、医師として生涯学び続ける意識が強まりました。一人一人の患者さんに最適な医療を届けるとともに、研究による医学の発展に貢献する医師を目指し、自己研鑽を続けます。

改めまして、献体してくださった方々、ご遺族の皆様、そして献体の会の会員の皆様、貴重な学びの機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

学ぶ者の責任

初めに今回わたしたち医学生のために献体にご協力いただいた方、またそのご遺族の方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この実習を通して感じたのは、学びをする私たちがたくさんの人々に支えられているという事実です。小学生のときから私は様々な人の協力のもとで学ぶことが出来ている、と先生たちに教わってきました。私もそれを理解していたつもりではいたのですが、どこかで自身の力だけで学習を深めてきたという傲慢な気持ちを抱えていたというのは否定できません。ただ、解剖を通してこのことを再認識しました。教科書でいくら理解したと思ったことでも、実物に触れてみると自身の誤解に気づくということが度々あったのです。この気づきは実習に協力してくださった方々がいなかったら得ることが出来なかった。そう思うたびに、自身が人々の支えを受けながら学びをしてきたということを実感しました。

今回の経験を通し、私たちはたくさんの人々の支えを糧に学んでいるということを再認識し、良い学びの機会を得ることが出来ました。今後もこのことを忘れず研鑽を積みたいと思います。本当にありがとうございました。

解剖実習を通しての学び

はじめに、献体してくださった方々、並びにご家族の方々のご協力のもと、貴重な学びの機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。

解剖実習中は、事前に資料を読んで予習をし、理解したつもりで実習に臨んでも、実際に解剖をしてみるとなかなか想像通りにはいかない、ということが何度もありました。二次元の写真を見るだけでは立体構造を十分に理解できていなかったこと、人体には教科書には載っていないほど細かな構造が無数にあること、またそれらの構造が人によって多様であること、がよく分かりました。それと同時に、人体を扱うことの難しさを実感し、責任ある職に就くために日々精進していく覚悟が決まりました。こうした感情の伴った学びは座学だけでは決して得られない貴重な経験でした。この思いを胸に、今後も人々に貢献できる医師になれるよう邁進してまいります。

最後に、献体してくださった方々とご家族の皆様に心より感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

感謝

この度、解剖実習を通じて得られた貴重な学びに対し、深く感謝申し上げます。私たち学生にとりまして、実際の人体を通じて解剖学を学ぶ機会は非常に重要であり、このような機会を得られましたことは、まさに幸運であり、心から感謝の念に堪えません。御献体があったからこそ、教科書や図では理解しきれない人体の構造や機能を直接学ぶことができました。

これにより、私たちの医学知識が飛躍的に深まり、今後の医療現場における実践において大いに役立つことと確信しております。また、御遺体を通じて、人体の複雑さや精巧さを直接確認することができ、これにより、理論上の知識がより一層深まると共に、実践的なスキルを身に付けることができました。私たちの学びは一層深まり、医学への情熱と責任感がより一層強まったと感じております。献体が持つ大きな意義と、その尊いご意思に対し、心より感謝申し上げます。

この経験を通じて得た知識と理解を基に、今後も学び続け、より良い医療従事者を目指して努力して参ります。皆様のご厚意に応えるためにも、日々の学習と臨床において最善を尽くす所存でございます。改めて深い感謝の意を表します。

誠にありがとうございました。

人体解剖学実習を終えての感想文

解剖学実習に際し、医学教育のためにご遺体を献体してくださった献体の会の皆さま、また、ご家族のご遺志を尊重してくださったご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

初回の実習にて初めてご遺体を目にした際には、これからご遺体にメスを入れ解剖させていただくという事実に、不安や恐怖を感じるとともに改めて身の引き締まる思いがしたことを思い出します。

毎実習前には講義を受け、実習書の予習を行ったうえで解剖に臨んでおりましたが、紙上の知識と実際の人体の構造とを対応させることは非常に難しく、また血管の走行や筋肉の走行などには個人差があり、そういった難点や差異に班員と悩み議論しながら実習に取り組んでおりました。一方で、性別や体型などの大きな個人差にもかかわらず殆どの人体構造は共通しているという、ある意味医学教育の前提となる共通性についても実際に観察することができました。

この実習から得た学びを活かすためにも、今後より一層勉学に勤しんで参る所存です。

最後になりますが、学部生活ひいてはその後の医師としての人生を通じて医学を学んでいく礎となる貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

解剖学実習を終えて

解剖学実習という貴重な機会をいただき、献体してくださった方々とそのご遺族に心より感謝申し上げます。

大学に入って医学を専門的に学び始め、医師になるという志を強めておりましたが、本実習を経験して思い知ったことは、医学を学ぶことの終わりのなさと医療を成り立たせる全ての人への感謝です。どれほど予習をして臨んでも、実際に目にする人体の構造は複雑で、教科書で幾度となく目にした構造でさえ同定することが難しいもどかしさを感じました。全く同じ体の人間など誰一人おらず、だからこそ患者さん一人ひとりに向き合った医療が必要なのだと学びました。どれほど多くの方々の思いで医学教育が成り立っているのかを胸に刻みました。

私には将来患者さんとそのご家族に寄り添い、多くの命を繋ぐ産婦人科医になりたいという夢があります。決して短い道のりとは思いませんが、この実習を通して目標までの道のりはより一層明確に、思いはさらに強くなりました。この思いを胸に気を引き締め、これから医師になるに向けて、そして医師になった後も精進してまいりたいと思います。

献体に関わって下さっている皆様への感謝

はじめに、今回の人体解剖学実習におきまして献体してくださった方ならびにその遺族の方々、そして献体の会の会員の皆様に、深く感謝申し上げます。私たち医学生が本実習を行うことができるのは、皆様のご協力があるからこそであり、心から感謝しております。

数か月に及ぶ解剖学実習を通して、私は多くのことを学ぶことができました。毎回の実習の前に十分な予習を行い、常に献体してくださった方への感謝を忘れずに臨むことができました。実習の内容は決して簡単なものではなく、事前に参考書や授業を通して準備をしていても、その通りに作業が進むことはあまりなく、その都度疑問に向かい合いながら進む日々でした。しかしそうした経験を重ねるうちに、だんだんと人の身体の構造や仕組みに対する理解が自然と深まっていきました。

私たちが医学部の二年生という早い段階でこのような貴重な経験を積むことができるのは、とても恵まれたことであると認識しております。この経験を今後に活かし、日々精進して立派な医師になれるよう、努力してまいります。改めて、皆様に感謝するとともに、献体してくださった方のご冥福を心からお祈り申し上げます。

解剖学実習を通して

初めに、解剖学実習という貴重な機会を賜るに当たり献体してくださった方、並びにご遺族の方々へ感謝申し上げます。この実習を通して、座学や紙面を通してのみでは学ぶことのできない多くのことを学ぶことができました。教科書で読み取って理解していたものが現実とは離れたものであったり、参考書の図を見て理解したと思い込んでいたものが、実際の現場に当たると図と異なるために自分の無知を思い知らされたり、これらは座学では絶対に学び得ないものでした。

また、知識のみでなく精神的な面においても多くのことを学ばせていただきました。昨年より医学部に入学したものの、自分が医師になるという自覚はあまり芽生えずにおりましたが、実際ご遺体を目の当たりにした際に命を扱うことの重みを深く感じました。解剖学実習のなかばであまりの重みに辛さを感じることもありましたが、実習を乗り越えて精神的に成長することができました。まだまだ医学生として学ぶことは座学、実習双方において山のようにありますが、この解剖実習で学んだことを礎としてこの思いを忘れることのないよう精進して参ります。

改めて献体してくださった方々へのご冥福をお祈りいたします。

人体解剖学実習を終えて

はじめに、私たちの人体解剖学実習のために献体してくださった方やそのご遺族の方々、そして献体の会の会員の皆様に対して、感謝を申し上げたいと思います。

人体解剖学実習では、教科書や画像、文字で学んだ人体の構造や機能について実際に自分の手で解剖し、自分の目で観察することによってより一層理解を深めることができるという貴重な経験をさせていただきました。講義や予習を通して自分では完全に理解をしていると思っていたことでも、実際に解剖させていただくことによって新たに理解が深まり、発見があることが毎回の実習のたびにありました。教科書通りに構造が表れてくるとは限らないので、時には教科書さえも疑うという姿勢をもって学ばせていただきました。

このような学びの場を提供していただけたことに対して、今一度献体してくださった方、そのご遺族の方々をはじめ、ご協力したくださった皆様に感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

人体解剖をさせて頂いて

今回、約三ヶ月に渡り人体解剖をさせて頂いて得たものや感想について述べさせて頂く。

まず何より先に献体にご協力頂いた方々に深い感謝と尊敬の念を表したい。献体してくださった方々の思いを無駄にしないためにも、より一層身を引き締めて医学を修めて行かなければならないと感じた。

次に、個人的に得たものや感想について述べさせて頂く。やはり一番大きかったのは先ほども書いたが、将来医師になるものとしての自覚と責任の大きさだろう。実習開始前に教授から説明があったが、ご遺体に何かしら手を加えるなどということは本来違法なことであり、医学部の限られた環境でしか認められていない。医師という職業が誰でもなれるものではなく、国家資格を持った人間にしか許されていないのも同じようなことだと考える。大きな責任が伴う医師になるためには、ただ単に国家資格の試験に通るということだけでなく、相応の心構えが必要であることを痛感させられた貴重な機会であった。

実際の人体への驚き

解剖実習という実際の人体を観察しながら人体の様々な構造への理解を深められる貴重な機会を与えて下さった、献体された方々、ご遺族の方々をはじめ全てのご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。

解剖実習を始めてすぐに、実際の人体が教科書と全然違っていること、自分の理解がいかに浅かったのかということに気がつき衝撃を受けました。教科書を読み、図説を見るだけではなく、自分の目で見て初めて理解、確認できることは本当に数多くありました。人体は複雑だからこそ多様性に富んでおり、身体は誰ひとりとして同じ構造をしていないのだということを実感しました。

将来患者様の身体を診察させて頂く立場として、学部二年という今の時期に人体への理解を深められたことは、これからの医学の勉強への礎となったのみならず生命の尊さに対する認識や医師としての自覚を再確認する機会にもなったと思います。

今回の経験を活かし、一人前の医師となれるようこれからもより一層努めて参ります。改めまして、本当にありがとうございました。

解剖学での学びと感謝、今後への誓い

はじめに、私たち医学生のために献体してくださった方、そしてその遺族の方に、このような貴重な実習の機会をいただいたことについて、深く感謝申し上げます。私たちが身につけた人体に関する知識や洞察は献体してくださった方とその遺族の方のご協力があってのものであると考えると、厚い感謝の意を抱かずにはいられません。

二年生で行われる解剖学の実習は私たちにとって非常に大きな意味を持ちます。なぜなら六年間の医学の学びの中で、実際に人間の体を解剖させていただき、構造を見ることができるのはこの解剖実習だけだからです。また、人間の正常な体の構造を学ぶ解剖学という科目は、これからの学習の基礎になるという点でも重要です。そのため、もっと見ておけばよかった、などといった後悔が残ることがないように、事前に適切に予習を行い、実習時には積極的に学ぶ姿勢をとりました。

また、この実習を通して人体の知識だけでなく、医師になるという自覚や、命を扱う職に就くという責任感を抱くようになりました。この経験を無駄にしないよう、これからも精一杯取り組んでいく所存です。

重ね重ね献体して下さった方々とご遺族の方々に感謝申し上げます。

解剖実習を終えて

はじめに、私たちの解剖学実習のために献体してくださった方々、またそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。皆様のご協力で私たちはとても貴重な体験をすることができました。

毎回実習の前に授業や教科書で人体の構造について学んでから解剖実習に臨みましたが、実際にご遺体を解剖すると、教科書の図ではあるものがご遺体ではなかったりその逆もあったり、図とは異なる形になっていたりと、教科書に載っている図とは異なる点がたくさんありとても興味深かったです。また、教科書の図は二次元ですが、実際のご遺体をみることでより立体的に構造を理解することができました。

ご遺体を自分の手で解剖することで、私は人の命を扱う職業である医師になるのだという実感と、責任を改めて感じました。メスにかける細かい力加減の違いで、観察するべき構造物に傷をつけてしまったり、観察したい構造を見つけられなかったりと人体はとても繊細で複雑なので、自分の手技の上達が不可欠であると分かり、これからの学びのモチベーションにもなりました。

この貴重な体験を活かしてこれから医学の勉強に励み、社会に貢献できるように努力します。本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて

二ヶ月の間、解剖実習を通して様々なことを学ぶことができました。解剖実習が始まるまでは解剖学の勉強に対してあまり実感が湧いていませんでしたが、実際に遺体を解剖させていただいて実習書とは比べ物にならないほど自分の知識として定着させることができました。はじめは器具の扱いなどになれておらずなかなか進度は遅かったですが、回数を重ねるにつれて経験として身につき、この経験が将来医師になる際に役立つことになるだろうと確信しています。

また、解剖の際は複数のグループに分かれていたのですが、そのグループごとに個人差があり、事前に予習してきたことと同じものはなかったため、診断や手術の際もそれらを意識することの大切さが身に沁みました。予習に関しても回数が浅いうちはなにをすれば良いかがはっきりとは分からず難航していましたが、後半ではきちんとした道筋を立てて予習をすることができました。紙の上では経験することができなかった大切な機会を私たちに与えてくださり、深く感謝したいと思います。

解剖学実習を通して学んだこと

献体してくださった方、及びご遺族の方々、この度は私たちの解剖学実習での学習のためにご協力していただき本当にありがとうございました。

私にとって解剖学という科目は今までの人生の中で最も医学を感じることのできる科目でした。正直に申し上げると、解剖学が始まるまでは医学生としての自覚も足りず、学業に励んでいるとはとてもいえる状況ではありませんでした。しかし解剖学実習で遺体を解剖させていただき、それに伴って解剖学の勉強を進める中で医学に興味が深まるようになりました。解剖学実習を通して解剖学への理解を深めるだけでなく、医学生としての自覚を持つことができました。その点において解剖学実習は私にとって大きな存在だったと言えます。

今後は解剖学実習を通して学んだこと、解剖学実習によって得られた学びへの意欲とともに、残りの大学生活で少しでも多くのことを学んでいきたいと思います。そして一人でも多くの患者を救えるように精進してまいります。この度は本当にありがとうございました。

解剖学実習での学びと決意

人体解剖学実習を通して私は多くのことを学び、良い医師になろうという決意を新たにすることができました。

実習が始まる前、私は自分の手で実際のご遺体を解剖することへの緊張や献体してくださった方の思いに応えられる自信のなさから、解剖実習が怖いなという気持ちがありました。しかし、解剖学の勉強と並行して実際に実習を進めるうちに、学んだことを自分の手や目で確認できる実習を非常に興味深く感じるようになり、意欲的に取り組むことができるようになりました。実習中は観察できるものをなるべく多く観察すべく、班員と実習時間をギリギリまで使って丁寧に解剖を進めました。その中で、人体の構造に対する座学だけでは身に着けられなかったであろう実感を伴った知識を多く蓄積することができたと思います。

実習を終えて、非常に貴重なこの機会を得ることができたのは献体してくださった方のおかげだと強く実感しており、感謝の思いでいっぱいです。実習の中で得た知識を生かして良い医師になり人々に貢献することで、献体してくださった方の思いに応えようと決意を新たにしています。この決意を忘れずに今後も研鑽を重ねていこうと思います。

解剖実習への感謝と学び

解剖実習を通じて、私たちは医学の基礎を学び、医療の場で役立つ知識と技術を身につけることができました。この貴重な学びの機会を提供してくださった献体して下さった方々とそのご遺族の皆様に、心より感謝申し上げます。ご遺族の皆様のご理解とご協力があってこそ、私たちはこのような実習を行うことができました。献体してくださった方々のご厚意を無駄にすることなく、これからも精進してまいります。

解剖実習では、人体の構造を詳細に理解することができました。教科書で学んだことと実際の人体との違いを体感し、医学の奥深さを再認識しました。特に、組織や臓器の位置関係、形態、色合いなどには個人差があり、実際に見ることでしか得られない知識を得ることができました。また、解剖に携わる中で、医師としての責任感や倫理観も深く学びました。この経験を通じて、人間の生命の尊さを強く感じ、今後の医療に対する情熱が一層高まりました。

献体して下さった方々とそのご遺族への感謝を胸に、今後も知と癒しの匠を創造し人々の幸福に貢献するために努力を惜しまず、日々の研鑽を積んでまいります。

重み

はじめに、献体してくださった方、そしてご遺族に心よりのお悔やみと、今回の私たちの実習において献体してくださったことに心からの感謝を述べさせていただきます。

この実習では、教科書だけでは学びきれないことをたくさん学ぶことができました。ここでの学びは、将来、医師として働く上で大きな意味を持つと確信しています。

実習が始まった頃は、実習に慣れていくことが、献体してくださったことへの重みを感じづらくなっていくことを意味するのではないかということに不安を感じていました。しかし、その重みを感じ続けた実習期間でした。その理由の一つとして、祖父の死があります。私は実習期間の途中に祖父を亡くしました。そこで、医療学生の学びのために、献体をしよう、と決めることが、いかに大きく重い決断であるかを知りました。そして、さらに感謝の気持ちが強くなりました。

私自身ができる恩返しは、この実習での学び、感謝を持って、医学生として勉強に励み、医師として多くの患者さんを救うことだと考えています。そのことを忘れず、今後医療に全力で向き合っていこうと思います。

痛感した解剖実習の意義

この度は、解剖学実習のために献体していただきましたこと、心より感謝申し上げます。

解剖実習を通じて、私たち学生は人体の構造や機能について深く理解し、これからの医師としての道を進むための重要な経験を積むことができました。教科書や講義を通じて学ぶことも多くありましたが、頭で理解していることと、実習で迷いなく正しい手順を行えることには大きな乖離がありました。解剖を通じて実際に手を動かしながら本物の人体の構造を確認することで、より深い理解に繋げることが出来たと感じています。これは、偏に貴重な勉強の機会を頂くことができたおかげであり、献体してくださった方並びにご遺族の皆様のご厚意に心から感謝しております。

私たちは、この経験を決して無駄にすることなく、将来の医療現場で人々の健康と生命を守るために努力してまいります。また、ご献体に対する敬意と感謝の気持ちを常に忘れることなく、誠実に学び続ける所存です。

改めまして、心からの感謝を申し上げますとともに、ご遺族の皆様、献体の会の会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

医療者として踏み出す一歩

解剖学に取り組み始めた二年生の始め、医学生という形で医療者になり一年が経っていたが、医療・医学における専門性などほとんど持っていなかった。人体に対する理解もその一つである。骨組みがあってその周りに肉が付き、血管が全身に広がっているといった漠然なイメージがまだ頭に染み付いていた。

しかし解剖学を学んだ今振り返ってみると、そのような過去の自分が不思議に思えるほど人体に対する自分の中の認識が変化したことに気づく。それは、ご遺体を自分の手で解剖する際に、各部分の構造を理解することが必要となり、また実際に解剖すると想像と異なる構造が見えるという状況を経験することで得られた学びであると感じる。ご遺体を解剖・観察する中で、骨の関節の仕方、靭帯の付着の仕方、血管・神経の分布の仕方など、人間が生きるために必要な構造がまるで綿密に設計されているかのような機能性を持っていることを目にし、非常に印象に残っている。

私はこの解剖実習を通して、臨床にも繋がる医療者としての第一歩を踏み出したような感覚を覚えた。医学の勉強は始まったばかりだが、故人が与えてくださった学びに恥じぬ医学生、医療者でありたいと思う。

人体解剖学実習を通して

初めに、解剖を通して学ぶという貴重な機会を賜り、献体くださった方、遺族の方、及び献体の会の会員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

私は過去に研究を通して薬剤の副作用を学んでおりましたが、人体のどの構造が、どのように連携してそのような作用をもたらすのかという、実験結果と結論の間にあるロジックについて、具体的な実感はないまま研究を行っていました。しかし、今回の解剖実習で人体の網羅的な構造・連携や、それらを紐解き病理を突き止めるという臨床医学の難しさを学ぶことができ、実態をもって理解することができました。

今回得た知識・経験は、病理学や臨床実習など、これから学ぶ全ての医学の基礎となるものであると理解しております。実際の解剖を通して医学を学ぶという、今回頂いた貴重な機会を決して忘れずに、今後も勉学に励み、将来は医学の発展に資する医療人となるべく邁進してまいります。

改めまして、解剖という貴重な機会をくださった皆様に感謝を申し上げます。

解剖学実習を終えて

はじめに、本学の解剖実習を行うにあたり、献体してくださった方、並びにご遺族の方をはじめとした、このような機会を設けるにあたりご協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

解剖実習が、私たちにとって初めての実習だったため、はじめは非常に緊張していました。実習を振り返ると、学びの多い、貴重な経験だと改めて感じました。教科書やアトラス、講義を通じて、入念に実習の手順を予習したつもりでも、実際の実習では目標の構造を見つけることがなかなかできませんでした。一方で、実際にご遺体の解剖を通して、教科書だけでは触れることができない、三次元的な配置などに触れることができ、非常に人体に対する理解が深まりました。また、医療者になるという自覚がより確固なものとなったことを実感しております。

改めて、解剖実習のために、ご遺体を提供してくださったことに深く感謝申し上げます。この経験を活かして、自身の目指す医療人に少しでも近づけるよう日々精進してまいります。ありがとうございました。

解剖実習を終えて

私たちの学びのために献体をしてくださった方々、並びにそのご家族に心から感謝いたします。

解剖学実習では、教科書の図や座学の講義からは得られない、たくさんの学びがありました。予習の段階でどうしても理解できなかったことが、実習でご遺体を拝見してすんなりと理解できるということが多々ありました。

私たちは今、解剖学を含め、医学の基礎となる科目を学んでいます。その中で、貴重なご遺体を実際に目で見て学習させていただいた経験は、今後様々な疾患について学んでいく上でとても重要になると考えています。さらに今後、病院実習、国家試験、研修といった医師になるための道を進んでいく私たちにとりまして、一生の記憶になると思っています。

今回学ばせていただいたことを活かし、社会の役に立てるよう、そして明日の医学に貢献できるよう、今後とも努力して参ります。最後に、献体をしてくださった方のご冥福をお祈り致します。この度は本当にありがとうございました。

解剖学実習を終えて

はじめに、今回の実習にあたり献体をしてくださった方々、ならびに大切なご家族を私たちにお預けくださったご遺族の方々に心より御礼申し上げます。

実習では人体の複雑さに圧倒されることばかりでした。予習して臨んでも組織の剖出や特定が上手くいかない状況の連続で、その度に情けなく申し訳ない思いでした。班員や先生方の助けを得ながら各組織の位置関係を自分の中で再構築できた経験は、今後の学びの基盤になると感じております。無数の組織が連動して作り出す命に奇跡を感じるとともに、少しでも組織を傷つければ重大な結果を引き起こしかねないという医療の仕事の重みも痛感しました。こんなにも複雑な人体構造を体系化してきた先人たちの苦労や努力を噛み締めつつ、その末端に立った者として医学の発展に貢献していく所存です。

実習中は、人生の最後を私たちに託してくださった方々が歩まれた道のりや、どんな思いで献体登録をご決断されたのかについて考える機会が何度もありました。その思いに恥じぬよう、今回の経験を無駄にせず立派な医師となるため精進してまいります。

改めまして、この度は貴重な機会をくださり誠にありがとうございました。

解剖学実習を終えて

初めに、解剖学実習のためにご献体くださった方々とそのご遺族に深く感謝申し上げます。貴重な学びの機会を賜り、誠にありがとうございます。この経験を無駄にせず、良い臨床医・研究医を目指して一層努力してまいります。

実習では、教科書や図表では理解できない人体の複雑な構造に驚かされました。教科書や三次元モデルは単純化されていますが、実際の人体は非常に複雑で、個人差や性差による変異も多く、理解には高度な知識と技術が求められました。筋、血管、神経や各臓器を視覚的に確認することで、教科書では捉えきれない微細な構造や力学的特性、臓器の立体的な位置関係を理解できたことは非常に大きな学びとなりました。これは、教科書や三次元モデルだけでは得られない経験でした。この経験は、将来の臨床で患者さんに適切な診断と治療を提供するための重要な基盤になると確信しています。

解剖学実習で得た経験を基に、今後も学習と実践に励み、医療従事者としての責任感と倫理観を持って精進していきます。改めまして、ご献体くださった方々とそのご遺族の方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。